

# Cloud Virtual Machine

クイックスタート

製品ドキュメント



Tencent Cloud

## Copyright Notice

©2013-2024 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

## Trademark Notice



All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

## Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

## カタログ：

クイックスタート

基本概念

カスタマイズ設定

課金モードの選択

インスタンスタイプを選択する

ストレージメディアの選択

ネットワークを計画する

セキュリティグループの設定

Linux のCVMをカスタマイズ設定する

Windows CVM設定のカスタマイズ

# クイックスタート

## 基本概念

最終更新日：：2020-12-03 17:24:21

### インスタンス

クラウドの仮想コンピューティングリソースであり、CPU、メモリ、OS、ネットワーク、ディスクなどの最も基本的なコンピューティングコンポーネントを含むCloud Virtual Machine (CVM) として理解できます。

CVMインスタンスは、クラウドで安全で信頼できるElasticコンピューティングサービスを提供し、コンピューティングのニーズを満たすことができます。また、ビジネスニーズの変化に応じて、コンピューティングリソースをリアルタイムで拡大または削減できます。企業のソフトウェアとハードウェアの購入コストを大幅に削減し、IT運用・保守業務を簡素化できます。

### インスタンスタイプ

Tencent Cloudが提供するCVMの各種CPU、メモリ、ストレージおよびネットワーク構成。詳細については、[インスタンス仕様](#)をご参照ください。

### イメージ

CVMで実行されるプレハブテンプレートであり、サーバーの事前構成環境（OSとその他のインストールされたソフトウェア）が含まれています。Tencent Cloud CVMは、Windows、Linuxなどのあらかじめ作成されたさまざまなイメージを提供しています。

### Cloud Block Storage

Cloud Block Storage (CBS) は、高可用性、高信頼性、低コスト、カスタマイズ可能なブロックストレージデバイスであり、CVMのシステムディスクまたはスタンドアロンの拡張可能なディスクとして使用でき、CVMインスタンスに効率的で信頼性の高い [ストレージ](#) デバイスを提供します。

### Virtual Private Cloud

Tencent Cloudが提供する仮想分離サイバースペースであり、他のリソースと論理的に分離されています。

### IPアドレス

Tencent Cloudは [プライベートネットワークIPアドレス](#) と [パブリックネットワークIPアドレス](#) を提供します。分かりやすく言うと、プライベートネットワークIPはローカルエリアネットワーク (LAN) サービスを提供し、CVM間で相互アクセスできます。パブリックネットワークIPは、ユーザーがCVMインスタンス上でインターネットサービスにアクセスする必要がある場合に使用されます。

### ElasticパブリックネットワークIP

ダイナミックネットワーク向けに設計された静的パブリックネットワークIPであり、迅速なトラブルシューティングの要件に応えられます。

Elastic IP (EIP) は、動的なバインドとバインド解除をサポートする個別に申請可能なパブリックネットワークIPアドレスです。アカウント内のCVM (またはNATゲートウェイインスタンス) とバインドまたはバインド解除できます。主な役割:

中国国内のIPとDNSの間にドメイン名の登録が必要であるため、予約IPとして使用します。

インスタンスの障害をマスクします。例えば、動的DNSマッピングはDNS名をIPアドレスにマッピングし、このマッピング変化をインターネット全体に伝播するのに24時間かかる可能性があります。一方、Elastic IPは、あるCVMから別のCVMへのIPのドリフトを実現することを可能にします。CVMに障害が発生した場合、別のインスタンスを起動して再マッピングするだけで、インスタンス障害に迅速に対応できます。

## セキュリティグループ

セキュリティグループ (Security Group) は、パケットフィルタリング機能を備えたステータスのある仮想ファイアウォールです。それは、1台または複数台のCVMのネットワークアクセス制御を設定するために使用され、同じリージョン内で同じネットワークセキュリティ分離要件を持つCVMインスタンスを、同じセキュリティグループに追加し、セキュリティグループのネットワークポリシーによりCVMのインバウンド・アウトバウンドトラフィックを安全にフィルタリングすることができます。

## ログイン方式

パスワードは各CVMインスタンスの専用のログイン資格情報です。インスタンスの安全性と信頼性を保証するために、Tencent Cloudは以下2種類の暗号化ログイン方式を提供します。

**SSHキーペア**: コンソールとローカルクライアントで簡単に設定するだけで、インスタンスにリモートログインできます。また再ログイン時にパスワードを再入力する必要はありません。このログイン方法はより安全で信頼性が高く、総当たり攻撃の脅威を防ぐことができます。

**ログインパスワード**: インスタンスログインパスワードを持っている人が誰でも、セキュリティグループで許可されているパブリックアドレスを介してCVMインスタンスにリモートログインできます。

## リージョンとAvailability Zone

インスタンスおよびその他のリソースが起動する場所です。

リージョン (Region) は、ホスティングサービスを提供するTencent Cloudのデータセンターの分布地域であり、リージョン内には異なるAvailability Zoneがあります。

Availability Zone (Zone) とは、同じリージョン内で電力とネットワークが相互独立しているTencent Cloudの物理的なデータセンターのことです。Availability Zone間で障害が相互分離され、障害が拡散しないことを保証し、ユーザー業務が継続的なオンラインサービスを提供することを目的とします。

# カスタマイズ設定 課金モードの選択

最終更新日：：2021-02-02 19:44:55

Tencent Cloud CVM インスタンスには、従量課金とスポットインスタンスの2通りの課金方法があります。

**従量課金**：CVMインスタンスの柔軟な課金モードであり、実際に使用したリソース量に応じて料金が請求されます。従量課金により、いつでも要件を満たすためにリソースを有効化したりリリースしたりすることができます。秒単位まで正確で、前払いの必要がなく、1時間ごとに決済されます。この課金モードは、Eコマースでのフラッシュセールなど、デバイスのニーズが瞬時に大幅に変動したユースケースに最適です。

**スポットインスタンス**：CVMの新しいインスタンス運用モードで、従量課金モードと同様に、後払いモード（秒単位で請求され、1時間ごとに決済）に属します。スポットインスタンスは、需要に応じて時間単価が変動します。従量課金と比較して大幅な割引があり、同じ仕様の従量課金制インスタンスの価格の約10%~20%です。ただし、スポットインスタンスは、在庫不足または他のユーザーからの競争入札により、システムによって自動的にインスタンスをリサイクルされる場合があります。

従量課金とスポットインスタンスの両方の課金方法は、さまざまなシナリオでユーザーの要件を満たすことができます。詳細については、[課金方法](#) をご覧ください。

# インスタンスタイプを選択する

最終更新日：2020-03-03 10:13:16

さまざまな顧客の異なるユースケースの要件を満たすために、Tencent Cloudは、次のユースケースでのインスタンスタイプの選択肢を提案しています。

| ユースケースタイプ              | 推奨インスタンスタイプ                                  | 説明  |
|------------------------|--|---|
| 個人ウェブサイト               | 標準型インスタンス                                    | 中小規模のWebアプリケーション、中小規模のデータベースなどの汎用ワークロードに適しています。                                 |
| 企業ウェブサイト/ Eコマース/App    | 標準型インスタンス                                    | 中小規模のWebアプリケーション、中小規模のデータベースなどの汎用ワークロードに適しています。                                 |
| リレーショナルデータベース/分散式キャッシュ | メモリ型インスタンス                                   | 大量のメモリ操作、ルックアップ、およびコンピューティングを必要とするユースケースに適しています。                                |
| NoSQLデータベース            | ハイIO型インスタンス                                  | MongoDB、クラスターデータベースなど、ディスクの読み取り/書き込みおよびレイテンシー要件の高いI/O集約型ユースケースに適しています。          |
| 高性能コンピューティング           | コンピューティング型インスタンス<br>コンピューティングネットワーク強化型インスタンス | 大型PCゲーム/高性能エンジニアリング科学アプリケーション/ビデオコーデックなど、高いコンピューティングリソースの消費を必要とするユースケースに適しています。 |
| 高性能PCゲーム               | コンピューティング型インスタンス<br>コンピューティングネットワーク強化型インスタンス | 大型PCゲーム/高性能エンジニアリング科学アプリケーション/ビデオコーデックなど、高いコンピューティングリソースの消費を必要とするユースケースに適しています。 |
| モバイルゲーム/ブラ             | コンピュー  | 大型PCゲーム/高性能エンジニアリング科学アプリケーション/ビデ  |

|                             |  |  |
|-----------------------------|--|--|
| ウザーゲーム                      | <b>ティンク型</b><br>インスタンス<br><b>コンピューティング</b><br><b>ネットワーク強化型</b><br>インスタンス       | オコーデックなど、高いコンピューティングリソースの消費を必要とするユースケースに適しています。  |
| ライブブロードキャスト                 | <b>標準ネットワーク強化型</b><br>インスタンス<br><b>コンピューティング</b><br><b>ネットワーク強化型</b><br>インスタンス | 25G ENIを搭載することで、ネットワークパフォーマンスは通常の万兆データセンターの2.5倍になり、帯域幅が大きくなり、レイテンシーが短くなります。  |
| 金融                          | <b>CVM Dedicated Host標準型</b><br>インスタンス   | 通常の標準型と比較して、物理サーバーを専用し、リソースを隔離し、安全かつ制御可能で、CVM仕様をカスタマイズ可能です。セキュリティが規格に適合し、金融業界のより厳しい規制要件を満たします。                         |
| 科学コンピューティング                 | <b>GPUコンピューティング型</b><br>インスタンス   | 深層学習や、流体力学コンピューティング、金融コンピューティング、ゲノミクス研究、環境分析、高性能コンピューティングなどの科学コンピューティング、およびその他のサーバー側GPUのワークロードコンピューティングに適しています。        |
| 機械学習                        | <b>GPUコンピューティング型</b><br>インスタンス   | 深層学習や、流体力学コンピューティング、金融コンピューティング、ゲノミクス研究、環境分析、ハイパフォーマンスコンピューティングなどの科学コンピューティング、およびその他のサーバー側GPUのワークロードのコンピューティングに適しています。 |
| レンダリング                      | <b>GPUレンダリング型</b><br>インスタンス  | 非線形編集、ビデオコーデック、グラフィックス加速視覚化、3DデザインなどのGPUレンダリングシナリオに適しています。   |
| Hadoop/Spark/Elastic Search | <b>ビッグデータ</b><br>インスタンス  | Hadoop (HDFS/MapReduce/Spark/Hiveなど) 分散式コンピューティング、超並列処理 (MPP) データウェアハウスなどのシナリオ、B8ログまたはデータ処理アプリケーションなどに適しています。          |

その他のユースケースについては、[インスタンス仕様](#) をご参照ください。



# ストレージメディアの選択

最終更新日：2021-08-31 17:07:41

インスタンスを設定するときに、ローカルディスクまたはCloud Block Storageをシステムディスクまたはデータディスクとして選択できます。ストレージメディアを選択する前に、[ローカルディスク](#)及び[Cloud Block Storage](#)両方の特徴およびユースケースの違いをよく理解してください。

## ご注意：

選択したインスタンスの仕様に応じて、購入ページに表示されるシステムディスクとデータディスクのタイプが異なります。例えば、高IOインスタンスタイプを選択したユーザだけがSSDローカルディスクを選択できます。ローカルディスクを使用するCVMインスタンス（システムディスクとデータディスクを含む）は、設定（CPU、メモリ、ディスク）のアップグレードをサポートしません、帯域幅のアップグレードのみをサポートします。システムディスクのメディアタイプは、購入後に変更できません。

ストレージメディア（SATA HDDローカルディスク、NVME SSDローカルディスク、高性能CBS及びSSD CBS）の違いとユースケースを次の表に示します。

| ストレージメディア   | 優位性   | 適用ケース  |
|---|---|--|
| NVME SSD ローカルディスク<br>(高 IO モデル IT3、IT5 などでのみサポート) | 低遅延：マイクロ秒のアクセス遅延を提供します。   | 一時的な読み取りキャッシュとして使用：NVME SSD ローカルディスクのランダムリード性能（4KB/8KB/16KBランダム読み取り）は高性能で、MySQL、Oracle などのリレーショナルデータベースの読み取り専用スレーブデータベースとして最適です。<br>メモリのコストはソリッドステートディスクに比べ高額であることから、NVME SSD ローカルディスクを Redis、Memcache などのキャッシュタイプサービスのセカンダリキャッシュとしても使用できます。<br>注意：NVME SSD ローカルディスクには単一障害点リスクが存在することから、データの可用性を確保するために、アプリケーション層でデータの冗長性を確保することをお勧めします。またコアビジネスにはSSD CBSを使用することをお勧めします。 |
| SATA HDD ローカルディスク<br>(ビッグデータモデル D2 などでのみサポート)     | 低価格で、コールドデータのバックアップ、アーカイブなどのサービスに使用できます。<br>高スループット：ローカルのメカニカルハードディスクのスループットを提供します。 | EMR などのビッグデータ処理など大きなファイルのシーケンシャルリード/ライトシナリオに最適です。  |
| 高性能CBS  | I/Oシナリオの90%に  | 中小規模データベース、Webサーバーなどのシナリオに最適   |

|         |   |   |
|---------|---|---|
|         | 適しており、高品質、低価格のベストチョイスです。  | で、長期的に安定したIOパフォーマンスの出力を提供します。<br>コアビジネスのテスト、開発調整環境のIO要件を満たしています。  |
| SSD CBS | 高性能と高いデータ信頼性：業界最高レベルのNVMeソリッドステートストレージをディスクメディアとして使用します。I/O集約型サービスに適しており、長期的に安定した、超高パフォーマンスの単一ディスクを提供します。 | 次のシナリオに適用可能：<br><b>中規模および大規模データベース</b> ：MySQL、Oracle、SQL Serverなど、数百万行のテーブルを含む中規模および大規模のリレーショナルデータベースアプリケーションをサポートします。<br><b>コアサービスシステム</b> ：高いデータ信頼性を必要とするI/O集約型などのコアサービスシステム。<br><b>ビッグデータ分析</b> ：TB、PBレベルのデータに対する分散処理機能を提供します。データ分析、データマイニング、ビジネスインテリジェンスなどの領域に適しています。 |

CBSのタイプ、ケースの詳細については、[Cloud Block Storageタイプ](#)をご参照ください。

CBSの価格情報については、[Cloud Block Storage価格一覧](#)をご参照ください。

# ネットワークを計画する

最終更新日：2020-03-03 10:27:04

Tencent Cloud のVirtual Private Cloud(VPC)は、Tencent Cloud上でユーザーによってカスタマイズされる論理的に隔離されたネットワークスペースです。VPCでは、ユーザーはIPレンジ、IPアドレス、およびルーティングポリシーなどを自由に定義できますので、VPCを選択していただくことをお勧めします。

ユーザーがTencent Cloud VPCをより使いやすくするために、Tencent Cloudは以下のネットワーク計画に関する提案をご提供します。

## VPC数の確定

既知の特性：

プライベートネットワーク間はデフォルトでは相互通信ができません。異なるプライベートネットワーク間の相互通信が必要な場合、[ピアリング接続](#)または[クラウドコネクトネットワーク \(CCN\)](#) を使ってください。

デフォルトでは、同じVPCの異なるアベイラビリティゾーン間でプライベートネットワークが相互接続できません。

関連提案：

サービスには複数のリージョンでシステムをデプロイする必要がある場合、複数のVPCを使用する必要があります。アクセスのレイテンシーを低減し、アクセス速度を上げるには、お客様に近いリージョンでVPCを作成することができます。

現在のリージョンに複数のサービスがデプロイされており、異なるサービス間でネットワークを隔離させたい場合、サービスごとに現在のリージョンで対応するVPCを作成することができます。

複数のリージョンでデプロイする要件がなく、サービス間でネットワークを隔離させる要件もない場合、1つのVPCのみを使用することもできます。

## サブネット化の確定

既知の特性：

サブネットはVPC内のIPアドレスブロックであり、VPC内のすべてのクラウドリソースはサブネットにデプロイする必要があります。

同じVPCでサブネットIPレンジが重複することはできません。

現在、Tencent Cloud VPCは、10.a.0.0 / 8 (aは0-255に属する)、172.b.0.0 / 16 (bは0-31に属する)、および192.168.0.0/16の3つのプライベートIPレンジをサポートしています。

VPCが正常に作成されると、IPレンジは変更できません。

関連提案：

VPCのサブネット計画のみであり、基幹ネットワークまたはIDCとのネットワーク通信が発生しない場合、上記IPレンジのいずれかを選択してサブネットを新規作成できます。

基幹ネットワークとの通信が必要な場合は、必要に応じて10.[0~47].0.0/16およびそのサブセットのネットワークを作成してください。

VPNの確立が必要な場合、エンドIPレンジ(VPC IPレンジ)と対向側IPレンジ(お客様のIDC IPレンジ)は重複できないため、サブネットを新規作成する場合、対向側IPレンジを避ける必要があります。

IPレンジを分割する際に、IPレンジのIP容量、つまり使用可能なIPの数も考慮する必要があります。

最後に、同じVPCのサービス内のサービスモジュールをもとにサブネットを細分化することをお勧めします。たとえば、サブネットAはWeb層に使用し、サブネットBをロジック層に使用し、サブネットCをDB層に使用することは、ネットワークACLと連携してアクセス制御とフィルタリングするのに便利です。

## ルーティングポリシーの確定

既知の特性：

-ルートテーブルは一連のルーティングルールで設定され、VPC内のサブネットのアウトバウンドトラフィック方向を制御ために使用されます。

-各サブネットはルートテーブルに関連付ける必要があります、また1つのルートテーブルにのみ関連付けることができます。

各ルートテーブルは、複数のサブネットに関連付けることができます。

ユーザーがVPCを作成する際に、デフォルトのルートテーブルが自動的に生成されます。デフォルトのルートテーブルは、VPCのプライベートネットワークが相互接続することを意味します。

関連提案：

サブネットのトラフィック方向で特別な制御を行う必要がない場合、デフォルトでVPCのプライベートネットワークが相互接続する場合、デフォルトのルートテーブルを使用でき、カスタマイズのルーティングポリシーを設定する必要はありません。

サブネットのトラフィック方向に特別な制御が必要な場合は、公式サイトで [ルートテーブル](#) の使用詳細をご参照ください。

VPCの詳細については、[Virtual Private Cloud](#) をご参照ください。

# セキュリティグループの設定

最終更新日：：2022-07-27 16:25:30

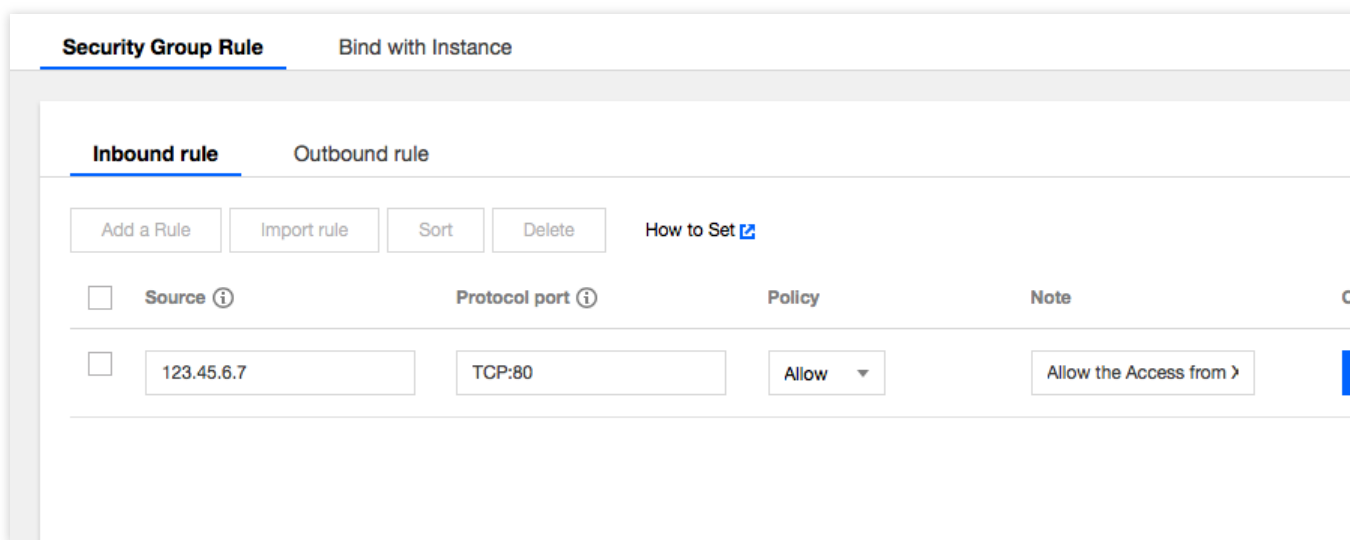
このドキュメントでは、新しいセキュリティグループの作成を例に、インスタンスのカスタマイズ設定の際に、Tencent Cloudが提供するセキュリティグループルールを使用してセキュリティグループの初回設定を行う方法についてご説明します。セキュリティグループに関するより多くの操作は、CVMコンソールの**セキュリティグループ**画面で行うことができます。詳細については、[セキュリティグループの概要](#)をご参照ください。

## セキュリティグループの設定

1. セキュリティグループの設定の際は、実際のニーズに応じて、下図のように**新しいセキュリティグループ**を選択します。

### 説明：

使用できるセキュリティグループがすでにある場合は、**既存のセキュリティグループ**を選択できます。



2. 実際のニーズに応じて、オープンにしたいIP/ポートにチェックを入れます。

セキュリティグループの新規作成には以下のルールを提供します。

ICMP：ICMPプロトコルをオープンにし、パブリックネットワークPingサーバーを許可します。

TCP:80：ポート80をオープンにし、HTTPによるWebサービスへのアクセスを許可します。

TCP:22：ポート22をオープンにし、SSHのLinux CVMへのリモート接続を許可します。

TCP:443：ポート443をオープンにし、HTTPSによるWebサービスへのアクセスを許可します。

TCP:3389：ポート3389をオープンにし、RDPのWindows CVMへのリモート接続を許可します。

プライベートネットワークをオープン：プライベートネットワークをオープンにし、異なるクラウドリソース間のプライベートネットワークが互換性（IPv4）を有することを許可します。

## 説明：

オープンにしたいIP/ポートにチェックを入れると、\*\*セキュリティグループのルール\*\*に詳細なセキュリティグループのインバウンド/アウトバウンドルールが表示されます。

業務上、他のポートをオープンにする必要がある場合は、[セキュリティグループの応用例](#)を参照して[セキュリティグループの新規作成](#)を行うこともできます。セキュリティ上の観点から、Tencent Cloudはなるべく業務に必要なポートのみをオープンにすることで不要なリスクを避けることをお勧めしています。

## セキュリティグループのルール

**インバウンドルール**：セキュリティグループに関連付けられたCVMへの到達が許可されたインバウンドトラフィックを表します。

**アウトバウンドルール**：CVMから出るアウトバウンドトラフィックを表します。

セキュリティグループ内ルールの優先順位：**位置が上のものほど優先順位が高くなります。**

CVMがルールのないセキュリティグループにバインドされている場合、すべてのインバウンド、アウトバウンドトラフィックはデフォルトで拒否されます（ルールがある場合は、ルールが優先的に発効します）。

CVMが複数のセキュリティグループにバインドされている場合、セキュリティグループの優先順位は**数字が小さいものほど優先順位が高くなります。**

CVMが複数のセキュリティグループにバインドされている場合、優先順位が最も低いセキュリティグループのルール発効はデフォルトで拒否されます。

## セキュリティグループの制限

制限の詳細については、[セキュリティグループに関する制限](#)をご参照ください。

# Linux のCVMをカスタマイズ設定する

最終更新日：：2023-04-21 15:20:06

CVMのクイック設定と異なり、カスタム設定はより豊富なイメージプラットフォーム、ストレージ、帯域幅、セキュリティグループなどの高度な設定をご提供し、ニーズに応じた適切な設定の選択が可能です。このドキュメントではカスタム設定を例にご説明します。

## 登録と認証

CVMを使用する前に、次の準備作業を完了する必要があります。

1. Tencent Cloudアカウントを登録し、実名認証を完了します。

新規ユーザーは、Tencent Cloud公式サイトで [登録](#) を行う必要があります。具体的な操作については、[Tencent Cloudアカウントの登録](#) をご参照ください。

2. [Tencent CloudCVM説明ページ](#) にアクセスし、[今すぐ購入](#) をクリックします。

## 基本設定の選択

### ご注意：

初回購入アカウントの場合、デフォルトで**クイック設定**ページに移動します。CVMを購入済みのユーザーの場合は、デフォルトで**カスタム設定**ページに移動します。CVMを未購入の場合は、**カスタム設定**を選択し、カスタム設定操作を行ってください。

1. 画面の指示に従って次の情報を設定します。

| カテゴリー                 | 入力必須/オプション | 設定説明  |
|-----------------------|------------|---|
| <a href="#">課金モデル</a> | 入力必須       | 実際のニーズに応じて選択してください。<br><b>従量課金</b> ：CVMのElastic課金モデルは、eコマースでの買い占め買い漁りなど機器の需要が瞬間的に大きく変動するシーンに適しています。<br><b>スポットインスタンス</b> ：新しいインスタンスの動作モードで、ビッグデータコンピューティング、CLBを採用したオンラインサービスおよびサイトサービスなどのシーンに適しており、一般的な価格帯は従量課金の10% ~20%です。 |
| <a href="#">リージョン</a> | 入力必須       | アクセスのレイテンシーを低減し、アクセス速度を向上させるために、お客様のユーザーに最も近いリージョンを選択することをお勧めします。   |
|                       |            |   |



|             |       |   |
|-------------|-------|---|
| アベイラビリティゾーン | 入力必須  | 実際のニーズに応じて選択してください。複数のCVMを購入する必要がある場合は、異なるアベイラビリティゾーンを選択することで障害復旧効果を実現することをお勧めします。<br>詳細情報については、 <a href="#">リージョンとアベイラビリティゾーン</a> をご参照ください。            |
| インスタンス      | 入力必須  | 現在Tencent Cloudは、下位層ハードウェアに応じてさまざまな種類のインスタンスをご提供しています。最適なパフォーマンスを実現するために、新しいインスタンスタイプのご使用をお勧めします。<br>インスタンスの詳細については、 <a href="#">インスタンス仕様</a> をご参照ください。 |
| イメージ        | 入力必須  | Tencent Cloudはパブリックイメージ、カスタムイメージ、共有イメージを提供しています。詳細については <a href="#">イメージタイプ</a> を選択してください。<br>Tencent Cloudを使用し始めたばかりのユーザーは、パブリックイメージを選択することを推奨します。     |
| システムディスク    | 入力必須  | OSのインストールに使用されます。容量はデフォルトで50GBです。<br>リージョンによって、選択可能なCBSの種類が異なります。<br>実際の画面の指示に従って選択してください。CBSについては、 <a href="#">CBSタイプ</a> をご参照ください。                    |
| データディスク     | オプション | CVMのストレージ容量を拡張し、効率的で信頼性の高いストレージデバイスを提供するために使用されます。CBSデータディスクはデフォルトでは追加されません。<br>CBSについては、 <a href="#">CBSタイプ</a> をご参照ください。                              |
| 定期スナップショット  | オプション | システムディスクまたはデータディスクに定期スナップショットポリシーを設定できます。<br>定期スナップショットの詳細については、 <a href="#">定期スナップショット</a> をご参照ください。   |
| 数量          | 入力必須  | 購入が必要なCVMの数を示します。   |

2. 次へ：ネットワークおよびホストの**設定**をクリックして、ホストの設定ページに進みます。

## ネットワークとホストの設定

1. 画面の指示に従って次の情報を設定します。

| カテゴリー | 入力必須/オプション | 設定説明 |
|-------|------------|------|
|       |            |      |



|            |       |   |
|------------|-------|---|
| ネットワーク     | 入力必須  | <p>Tencent Cloud上に構築された、論理的に隔離されているネットワークスペースを示します。1つのVirtual Private Cloud(VPC)は、少なくとも1つのサブネットで構成されます。システムは各リージョンにデフォルトのVPCとサブネットを提供します。</p> <p>既存のVPC/サブネットが要件を満たしていない場合は、VPCコンソールで作成できます。</p> <p><b>注意：</b></p> <p>同じVPC内のリソースはデフォルトでプライベートネットワークで相互接続されます。購入時には、CVMと同じアベイラビリティゾーンプロパティを持つサブネットにCVMを作成する必要があります。</p>   |
| パブリックIP    | オプション | <p>CVMにパブリックネットワークアクセス機能が必要な場合、CVMにパブリックIPを割り当てる必要があります。CVMの作成時にパブリックIPの割り当てを選択、またはCVM作成後に <a href="#">Elastic IP</a>を設定する必要があります。</p>  |
| 帯域幅課金モデル   | オプション | <p>Tencent Cloudは、以下の2つのネットワーク課金方式をご提供しています。実際のニーズに応じて選択してください。</p> <p><b>トラフィック使用量による課金：</b>実際のトラフィック使用による課金です。ピーク帯域幅を制限することで、予期せぬトラフィックによって生じる料金を回避することができ、瞬時帯域幅がこの値を超えるとパケットロスが発生します。ネットワークの変動が大きいシナリオに適しています。</p> <p><b>共有帯域幅パッケージに応じた課金：</b>業務中のパブリックネットワークのトラフィックピークが異なる時間帯に分散しているとき、共有帯域幅パッケージによって帯域幅の集約課金が実現できます。これは、大規模な業務やパブリックネットワークのさまざまなインスタンスがトラフィックピークシフトを形成できるシナリオに適しています。</p> <p>詳細については、<a href="#">パブリックネットワーク課金モデル</a>をご参照ください。</p> |
| 帯域幅の値      | オプション | <p>必要に応じてCVMのパブリックの帯域幅上限を設定することができます。</p> <p>詳細については、<a href="#">パブリックの帯域幅上限</a>をご参照ください。</p>   |
| セキュリティグループ | 入力必須  | <p>1台または複数のCVMのネットワークアクセス制御を設定するために使用されます。</p> <p>ログインポート22が有効になっていることを確認してください。</p> <p>詳細な情報については、以下をご参照ください <a href="#">セキュリティグループ</a>。</p>   |
| タグ         | オプション | <p>必要に応じてタグをCVMに追加し、クラウドリソースの分類、検索および集約に使用することができます。</p> <p>詳細については <a href="#">タグ</a>をご参照ください。</p>   |
| インスタンス名    | オプション | <p>作成するCVMの名前を示します。ユーザーによるカスタマイズが可能であり、「CVM-01」が推奨されます。</p>   |
| ログ         | 入力    | <p>ユーザーがCVMにログインするための方法を設定します。実際のニーズに応じて設定して</p>  |

|             |       |   |
|-------------|-------|---|
| イン方法        | 必須    | <p>ください。</p> <p><b>パスワードの設定</b>：インスタンスのログインパスワードをカスタム設定します。</p> <p><b>すぐにキーをバインドする</b>：SSHキーをバインドすると、SSHキーを介してCVMにより安全にログインします。キーがない場合、または既存のキーが適切でない場合は、今すぐ作成をクリックして作成できます。他のSSH キー情報は <a href="#">SSHキー</a> をご参照ください。</p> <p><b>パスワードの自動生成</b>：自動生成されたパスワードは<a href="#">サイト内メッセージ</a>の方式で送信されます。</p>  |
| インスタンスの削除保護 | オプション | <p>デフォルトでは無効になっています。実際のニーズに応じてチェックを入れてください。インスタンスの削除保護を有効にすると、コンソールまたはAPIによってインスタンスを削除することができなくなります。インスタンスの削除保護に関するその他の説明については、<a href="#">インスタンスの削除保護の有効化</a>をご参照ください。</p>   |
| セキュリティ強化    | オプション | <p>デフォルトでは、無料でアクティブにできます。これにより、ユーザーはサーバーセキュリティ保護システムを構築でき、データ漏洩を防ぎます。</p>   |
| TCOP        | オプション | <p>デフォルトでは無料でアクティブにできます。立体的なCVMデータ監視、インテリジェントなデータ分析、リアルタイムな故障アラート、およびデータレポートのカスタマイズ構成を提供します。これにより、ユーザーは業務とCVMのヘルス状態を正確に把握できます。</p>  |
| TAT         | オプション | <p>デフォルトでは、無料でアクティブにできます。CVMネイティブオペレーションデプロイツールとして、インスタンスにリモート接続せずにShell コマンドを自動バッチ実行でき、自動化オペレーションスクリプトの実行、プロセスのポーリング、ソフトウェアのインストール/アンインストール、アプリケーションの更新、パッチのインストールなどのタスクを完了できます。</p>   |
| 高度な設定       | オプション | <p>実際のニーズに応じてインスタンスにより多くの設定を行うことができます。</p> <p><b>ホスト名</b>：ユーザーは、CVM OS内のコンピュータ名をカスタム設定できます。CVMが正常に稼働した後に、CVMにログインして照会できます。</p> <p><b>所属プロジェクト</b>：デフォルトではデフォルトプロジェクトであり、実際のニーズに応じて作成済みのプロジェクトを選択し、それぞれのCVMの管理に用いることができます。</p> <p><b>CAMロール</b>：ロールを設定すると、ロールを介してCVMにTencent Cloud内のサービス、操作、リソースのアクセス権限を付与することができます。詳細は、<a href="#">インスタンスロールの管理</a> を参照して設定することができます。</p> <p><b>配置グループ</b>：必要に応じてインスタンスを配置グループ内に追加し、業務の可用性を向上させることができます。詳細は、<a href="#">配置グループ</a> を参照して設定することができます。</p> <p><b>カスタムデータ</b>：カスタムデータを指定することでインスタンスを設定します。これは、インスタンス起動時の実行を設定したスクリプトです。一度に複数のCVMを購入すると、カスタムデータはすべてのCVMで実行されます。Linux OSはShell形式をサポートし、最</p> |

大16KBのオリジナルデータをサポートします。詳細は、[カスタムデータ](#)をご参照ください。

**注意：**カスタムデータ設定は、一部のCloudinitサービス付きのパブリックイメージのみサポートします。詳細は、[Cloud-Init](#)をご参照ください。

2. **次へ：構成情報の確認**をクリックして、構成情報の確認ページに進みます。

## 設定情報の確認

1. 購入したCVMの各設定、および料金明細を照合します。
2. 「『Tencent Cloudサービス契約』に同意する」を読んでチェックを入れます。
3. 実際のニーズに応じて、次の操作を実行できます。

**起動テンプレートに保存の選択：**このインスタンスの設定を起動テンプレートに保存します。起動テンプレートを保存して迅速にインスタンスを作成することができます。詳細は、[インスタンス起動テンプレートの管理](#)をご参照ください。

**API Explorerベストプラクティススクリプトの作成**を選択：選択した設定に対応するOpenAPIベストプラクティススクリプトコードを発行して、同じ設定のCVMを購入する際に使用できるように保存することができます。詳細については、[インスタンスAPI Explorerのベストプラクティススクリプトの発行と作成](#)をご参照ください。

4. **今すぐ購入またはアクティブ化**をクリックし、支払いを完了します。

支払いが完了すると、[CVMコンソール](#)にアクセスし、お客様のCVMを確認することができます。

CVMインスタンス名、パブリックIPアドレス、プライベートIPアドレス、ログイン名、初期ログインパスワードなどの情報は、[サイト内メッセージ](#)の形でアカウントに送信されます。これらの情報を使用してインスタンスへのログイン、管理ができます。また、ホストのセキュリティを保護するためにできるだけ早くCVMのログインパスワードを変更してください。

## インスタンスのログインと接続

CVMの操作が完了したら、Tencent Cloudのコンソールを介してCVMにログインし、実際のニーズに応じてサイト構築などの操作を実行できます。

Tencent CloudコンソールからCVMにログインする方法については、実際のニーズに応じて、該当するログイン方法を選択してください。

[標準ログイン方式を使用してLinuxインスタンスにログイン（推奨）](#)

[リモートログインソフトウェアを使用してLinuxインスタンスにログイン](#)

[SSHを使用してLinuxインスタンスにログイン](#)

## データディスクのパーティションとフォーマット

**モデルの選択**の際に、データディスクを追加している場合は、インスタンスにログインした後にデータディスクをフォーマットし、パーティションを作成する必要があります。**データディスクを追加していない場合は、この手順をスキップできます。**

ディスク容量のサイズとCVM OSの種類に応じて、適切な操作ガイドを選択してください。

ディスク容量が2TB未満の場合：

[CBSの初期化 \(Linux\)](#)

ディスク容量が2TB以上の場合：

[CBSの初期化 \(Linux\)](#)

その他の操作ガイドについては、[初期化シナリオについて](#)をご参照ください。

# Windows CVM設定のカスタマイズ

最終更新日：2023-04-21 11:51:04

CVMのクイック設定と異なり、カスタム設定はより豊富なイメージプラットフォーム、ストレージ、帯域幅、セキュリティグループなどの高度な設定をご提供し、ニーズに応じた適切な設定の選択が可能です。このドキュメントではカスタム設定を例にご説明します。

## 登録と認証

CVMを使用する前に、次の準備作業を完了する必要があります。

1. Tencent Cloudアカウントを登録し、実名認証を完了します。

新規ユーザーは、Tencent Cloud公式サイトで [登録](#) を行う必要があります。具体的な操作については、[Tencent Cloudアカウントの登録](#) をご参照ください。

2. [Tencent CloudCVM説明ページ](#) にアクセスし、[今すぐ購入](#) をクリックします。

## 基本設定の選択

### ご注意：

初回購入アカウントの場合、デフォルトで**クイック設定**ページに移動します。CVMを購入済みのユーザーの場合は、デフォルトで**カスタム設定**ページに移動します。CVMを未購入の場合は、**カスタム設定**を選択し、カスタム設定操作を行ってください。

1. 画面の指示に従って次の情報を設定します。

| カテゴリー | 入力必須/オプション | 設定説明   |
|-------|------------|--|
| 課金モデル | 入力必須       | 実際のニーズに応じて選択してください。<br><b>従量課金</b> ：CVMのElastic課金モデルは、eコマースでの買い占め買い漁りなど機器の需要が瞬間的に大きく変動するシーンに適しています。<br><b>スポットインスタンス</b> ：新しいインスタンスの動作モードで、ビッグデータコンピューティング、CLBを採用したオンラインサービスおよびサイトサービスなどのシーンに適しており、一般的な価格帯は従量課金の10%～20%です。 |
| リージョン | 入力必須       | アクセスのレイテンシーを低減し、アクセス速度を向上させるために、お客様のユーザーに最も近いリージョンを選択することをお勧めします。  |
|       |            |  |

|             |       |   |
|-------------|-------|---|
| アベイラビリティゾーン | 入力必須  | 実際のニーズに応じて選択してください。<br>複数のCVMを購入する必要がある場合は、異なるアベイラビリティゾーンを選択することで障害復旧効果を実現することをお勧めします。詳細情報については、 <a href="#">リージョンとアベイラビリティゾーン</a> をご参照ください。            |
| インスタンス      | 入力必須  | 現在Tencent Cloudは、下位層ハードウェアに応じてさまざまな種類のインスタンスをご提供しています。最適なパフォーマンスを実現するために、新しいインスタンスタイプのご使用をお勧めします。<br>インスタンスの詳細については、 <a href="#">インスタンス仕様</a> をご参照ください。 |
| イメージ        | 入力必須  | Tencent Cloudはパブリックイメージ、カスタムイメージ、共有イメージを提供しています。<br>詳細については <a href="#">イメージタイプ</a> を選択してください。Tencent Cloudを使用し始めたばかりのユーザーは、パブリックイメージを選択することを推奨します。     |
| システムディスク    | 入力必須  | OSのインストールに使用されます。容量はデフォルトで50GBです。<br>リージョンによって、選択可能なCBSの種類が異なります。実際の画面の指示に従って選択してください。<br>CBSについては、 <a href="#">CBSタイプ</a> をご参照ください。                    |
| データディスク     | オプション | CVMのストレージ容量を拡張し、効率的で信頼性の高いストレージデバイスを提供するために使用されます。CBSデータディスクはデフォルトでは追加されません。<br>CBSについては、 <a href="#">CBSタイプ</a> をご参照ください。                              |
| 定期スナップショット  | オプション | システムディスクまたはデータディスクに定期スナップショットポリシーを設定できます。定期スナップショットの詳細については、 <a href="#">定期スナップショット</a> をご参照ください。   |
| 数量          | 入力必須  | 購入が必要なCVMの数を示します。   |

2. 次へ：ネットワークおよびホストの**設定**をクリックして、ホストの設定ページに進みます。

## ネットワークとホストの設定

1. 画面の指示に従って次の情報を設定します。

| カテゴリー | 入力必須/オプション | 設定説明 |
|-------|------------|------|
|       |            |      |



|            |          |  |
|------------|----------|--|
| ネットワーク     | 入力<br>必須 | <p>Tencent Cloud上に構築された、論理的に隔離されているネットワークスペースを示します。1つのVirtual Private Cloud(VPC)は、少なくとも1つのサブネットで構成されます。システムは各リージョンにデフォルトのVPCとサブネットを提供します。</p> <p>既存のVPC/サブネットが要件を満たしていない場合は、VPCコンソールで作成できます。</p> <p><b>注意：</b></p> <p>同じVPC内のリソースはデフォルトでプライベートネットワークで相互接続されます。購入時には、CVMと同じアベイラビリティゾーンプロパティを持つサブネットでCVMを作成する必要があります。</p>  |
| パブリックIP    | オプション    | <p>CVMにパブリックネットワークアクセス機能が必要な場合、CVMにパブリックIPを割り当てる必要があります。CVMの作成時にパブリックIPの割り当てを選択、またはCVM作成後に <a href="#">Elastic IP</a> を設定する必要があります。</p>  |
| 帯域幅課金モデル   | オプション    | <p>Tencent Cloudは、以下の2つのネットワーク課金方式をご提供しています。実際のニーズに応じて選択してください。</p> <p><b>トラフィック使用量による課金：</b>実際のトラフィック使用による課金です。ピーク帯域幅を制限することで、予期せぬトラフィックによって生じる料金を回避することができ、瞬時帯域幅がこの値を超えるとパケットロスが発生します。ネットワークの変動が大きいシナリオに適しています。</p> <p><b>共有帯域幅パッケージに応じた課金：</b>業務中のパブリックネットワークのトラフィックピークが異なる時間帯に分散しているとき、共有帯域幅パッケージによって帯域幅の集約課金が実現できます。これは、大規模な業務やパブリックネットワークのさまざまなインスタンスがトラフィックピークシフトを形成できるシナリオに適しています。</p> <p>詳細については、<a href="#">パブリックネットワーク課金モデル</a> をご参照ください。</p> |
| 帯域幅の値      | オプション    | <p>必要に応じてCVMのパブリックの帯域幅上限を設定することができます。</p> <p>詳細については、<a href="#">パブリックの帯域幅上限</a> をご参照ください。</p>   |
| セキュリティグループ | 入力<br>必須 | <p>1台または複数のCVMのネットワークアクセス制御を設定するために使用されます。</p> <p><b>ログインポート3389が有効になっていることを確認してください。</b> 詳細な情報については、以下をご参照ください <a href="#">セキュリティグループ</a>。</p>  |
| タグ         | オプション    | <p>必要に応じてタグをCVMに追加し、クラウドリソースの分類、検索および集約に使用することができます。詳細については <a href="#">タグ</a> をご参照ください。</p>   |
| インスタンス名    | オプション    | <p>作成するCVMの名前を示します。</p> <p>ユーザーによるカスタマイズが可能であり、「CVM-01」が推奨されます。</p>  |
| ログ         | 入力       | <p>ユーザーがCVMにログインするための方法を設定します。実際のニーズに応じて設定して</p>   |

|             |       |  |
|-------------|-------|--|
| イン方法        | 必須    | <p>ください。</p> <p><b>パスワードの設定</b>：インスタンスのログインパスワードをカスタム設定します。</p> <p><b>パスワードの自動生成</b>：自動生成されたパスワードは <a href="#">サイト内メッセージ</a> の方式で送信されます。</p>   |
| インスタンスの削除保護 | オプション | <p>デフォルトでは無効になっています。実際のニーズに応じてチェックを入れてください。</p> <p>インスタンスの削除保護を有効にすると、コンソールまたはAPIによってインスタンスを削除することができなくなります。インスタンスの削除保護に関するその他の説明については、<a href="#">インスタンスの削除保護の有効化</a> をご参照ください。</p>   |
| セキュリティ強化    | オプション | <p>デフォルトでは、無料でアクティブにできます。これにより、ユーザーはサーバーセキュリティ保護システムを構築でき、データ漏洩を防ぎます。</p>  |
| TCOP        | オプション | <p>デフォルトでは無料でアクティブにできます。立体的なCVMデータ監視、インテリジェントなデータ分析、リアルタイムな故障アラート、およびデータレポートのカスタマイズ構成を提供します。これにより、ユーザーは業務とCVMのヘルス状態を正確に把握できます。</p>   |
| TAT         | オプション | <p>デフォルトでは、無料でアクティブにできます。CVMネイティブオペレーションデプロイツールとして、インスタンスにリモート接続せずにShell コマンドを自動バッチ実行でき、自動化オペレーションスクリプトの実行、プロセスのポーリング、ソフトウェアのインストール/アンインストール、アプリケーションの更新、パッチのインストールなどのタスクを完了できます。</p>  |
| 高度な設定       | オプション | <p>実際のニーズに応じてインスタンスにより多くの設定を行うことができます。</p> <p><b>ホスト名</b>：ユーザーは、CVM OS内のコンピュータ名をカスタム設定できます。CVMが正常に稼働した後に、CVMにログインして照会できます。</p> <p><b>所属プロジェクト</b>：デフォルトではデフォルトプロジェクトであり、実際のニーズに応じて作成済みのプロジェクトを選択し、それぞれのCVMの管理に用いることができます。</p> <p><b>CAMロール</b>：ロールを設定すると、ロールを介してCVMにTencent Cloud内のサービス、操作、リソースのアクセス権限を付与することができます。詳細は、<a href="#">インスタンスロールの管理</a> を参照して設定することができます。</p> <p><b>配置グループ</b>：必要に応じてインスタンスを配置グループ内に追加し、業務の可用性を向上させることができます。詳細は、<a href="#">配置グループ</a> を参照して設定することができます。</p> <p><b>カスタムデータ</b>：カスタムデータを指定することでインスタンスを設定します。これは、インスタンス起動時の実行を設定したスクリプトです。一度に複数のCVMを購入すると、カスタムデータはすべてのCVMで実行されます。Windows OSはPowerShell形式をサポートし、最大16KBのオリジナルデータをサポートします。詳細は、<a href="#">カスタムデータ</a> をご参照ください。</p> <p><b>注</b>：カスタムデータ設定はWindowsパブリックイメージのみをサポートしています。詳細については、<a href="#">注意事項</a> をご参照ください。</p> |



2. **次へ：構成情報の確認**をクリックして、構成情報の確認ページに進みます。

## 設定情報の確認

1. 購入したCVMの各設定、および料金明細を照合します。
2. 「『Tencent Cloudサービス契約』に同意する」を読んでチェックを入れます。
3. 実際のニーズに応じて、次の操作を実行できます。

**起動テンプレートに保存**の選択：このインスタンスの設定を起動テンプレートに保存します。起動テンプレートを保存して迅速にインスタンスを作成することができます。詳細は、[インスタンス起動テンプレートの管理](#)をご参照ください。

**API Explorerベストプラクティススクリプトの作成**を選択：選択した設定に対応するOpenAPIベストプラクティススクリプトコードを発行して、同じ設定のCVMを購入する際に使用できるように保存することができます。詳細については、[インスタンスAPI Explorerのベストプラクティススクリプトの発行と作成](#)をご参照ください。

4. **今すぐ購入**または**アクティブ化**をクリックし、支払いを完了します。

支払いが完了すると、[CVMコンソール](#)にアクセスし、お客様のCVMを確認することができます。

CVMインスタンス名、パブリックIPアドレス、プライベートIPアドレス、ログイン名、初期ログインパスワードなどの情報は、[サイト内メッセージ](#)の形でアカウントに送信されます。これらの情報を使用してインスタンスへのログイン、管理ができます。また、ホストのセキュリティを保護するためにできるだけ早くCVMのログインパスワードを変更してください。

## インスタンスのログインと接続

CVMの操作が完了したら、Tencent Cloudのコンソールを介してCVMにログインし、実際のニーズに応じてサイト構築などの操作を実行できます。

Tencent CloudコンソールからCVMにログインする方法については、実際のニーズに応じて、該当するログイン方法を選択してください。

[標準方式を使用してWindowsインスタンスにログイン（推奨）](#)

[RDPファイルを使用してWindowsインスタンスにログイン](#)

[リモートデスクトップを利用してWindowsインスタンスにログイン](#)

## データディスクのフォーマットとパーティション

[モデルの選択](#)の際に、データディスクを追加している場合は、インスタンスにログインした後にデータディスクをフォーマットし、パーティションを作成する必要があります。[データディスクを追加していない場合は、この手順をスキップ](#)できます。

ディスク容量のサイズとCVM OSの種類に応じて、適切な操作ガイドを選択してください。

ディスク容量が2TB未満の場合：

[CBSの初期化 \(Windows\)](#)

ディスク容量が2TB以上の場合：

[CBSの初期化 \(Windows\)](#)

その他の操作ガイドについては、[初期化シナリオについて](#) をご参照ください。